

SWT & SAMAC シリーズ データ転送シート の使用方法

ご使用前に

- ◎ 本「データ転送シート」（以下「転送シート」）は株式会社サンコウ電子研究所（以下「弊社」）製デジタル膜厚計「SWT & SAMAC シリーズ」専用の無償配布ソフトです。
- ◎ 本「転送シート」に関し、一切の質問・サポートなどのお問い合わせに弊社は回答の義務を負わないものとします。
- ◎ 本「転送シート」は USB 転送ドライバおよび Microsoft[®] Excel 2010/2013/2016 のいずれかがインストールされている環境下でご使用ください。但し、同一環境下での動作を保障するものではありません。
- ◎ 本「転送シート」を商行為に使用することはできません。（レンタル・擬似レンタル行為や第3者への販売を禁じます。本ソフトの著作権は弊社に帰属します）
- ◎ 本「転送シート」の使用により生じたいかなる損害についても弊社はその責任を負いません。
- ◎ 本「転送シート」の改変、またはリバースエンジニアリング等の行為を行うことはできません。
- ◎ 本「転送シート」は日本国内のみでの使用とします。
- ◎ 本「転送シート」は予告せず改良、変更することがあります。

はじめに

この度は弊社の膜厚計「SWT & SAMAC シリーズ」をご購入いただき誠にありがとうございます。

本器は「転送シート」により、Microsoft[®] Excel へ測定データの転送が行えます。

「転送シート」を使用するためには、あらかじめ「SWT & SAMAC シリーズ USB 転送ドライバ」および Microsoft[®] Excel 2010/2013/2016 のいずれかがインストールされている環境が必要です。

なお、この「使用方法」は、弊社ホームページ上からも PDF ファイルとしてダウンロードできます。

1. 「SWT & SAMAC シリーズ USB 転送ドライバ」のインストール

最初に、本器で使用する USB 転送ドライバをインストールしてください。

インストール方法は「⑤SWT & SAMAC シリーズ USB 転送ドライバのインストール.pdf」を参照して行ってください。（この作業の COM ポート番号は次頁で使用します）

ドライバおよびインストール方法は、SWT-9100、9200、9300 および SAMAC-Pro に付属している CD の中に入っています。また、弊社ホームページ上からもダウンロードできます。

なお、製品に付属しているドライバは、Windows[®] 7, 8, 8.1, 10 の 32/64 ビットのパソコンで使用できます。XP および Vista のパソコンを使用する場合は、弊社ホームページから旧バージョンのドライバをダウンロードしてください。

2. SWT データ転送シートの入手、解凍（SAMAC シリーズにも使用可能）

「転送シート」（圧縮ファイル）は弊社ホームページからダウンロードしてください。

[zip] 形式をダウンロードし、任意の場所に解凍してください。

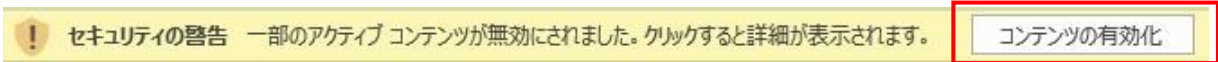
解凍されるファイルは1つで「SWT 転送シート V10.01 (forSWT9000/64bit 対応版).xls」です。

なお、Microsoft[®] Excel 2002/2003/2007 の環境下で使用する場合は、弊社ホームページから旧バージョンの転送シート（V9.00）をダウンロードしてください。

※Windows および Microsoft は米国マイクロソフト社の登録商標です。

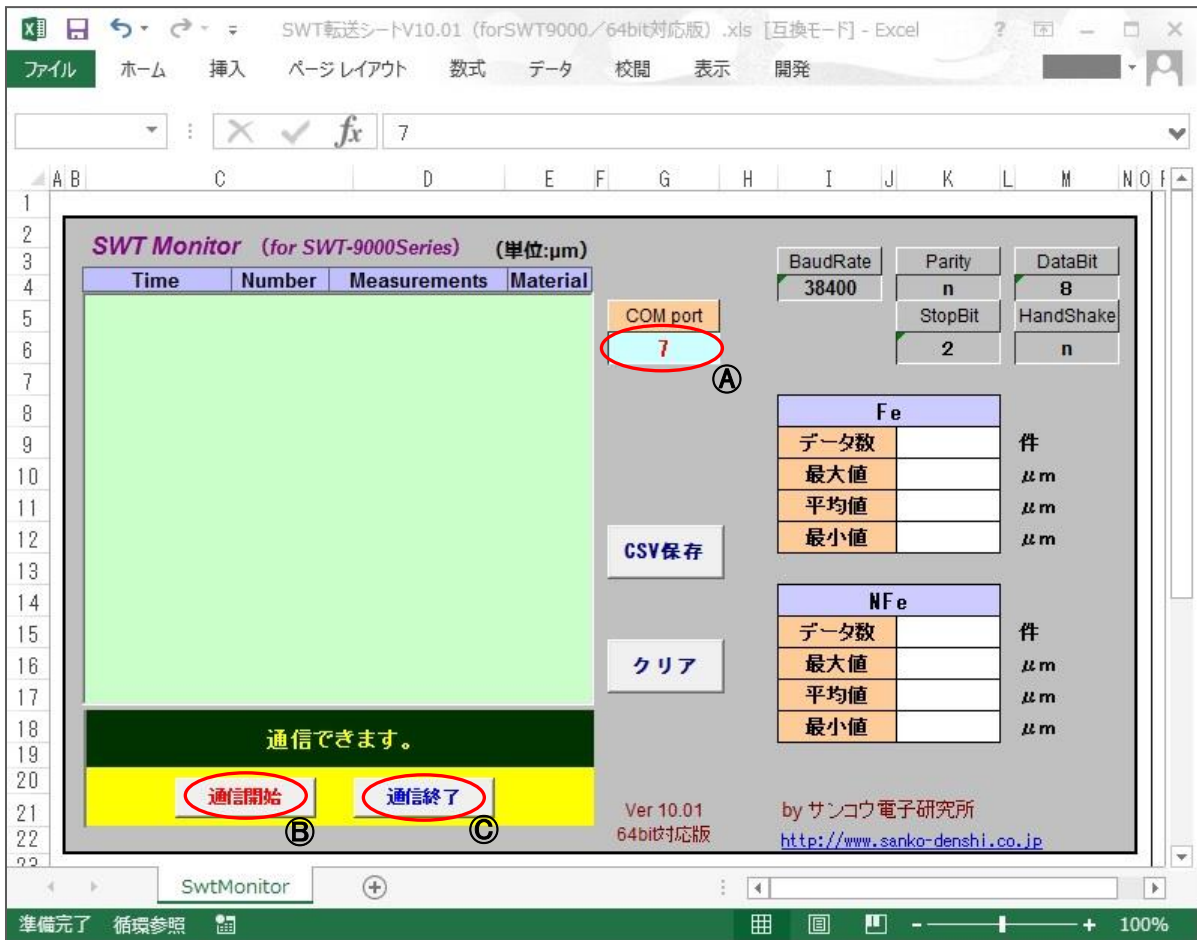
3. データ転送シートの起動と通信

- ・「SWT 転送シート V10.01 (forSWT9000/64bit 対応版).xls」ファイルを実行します。
- ・セキュリティの警告が表示される場合は、**コンテンツの有効化**をクリックしてください。

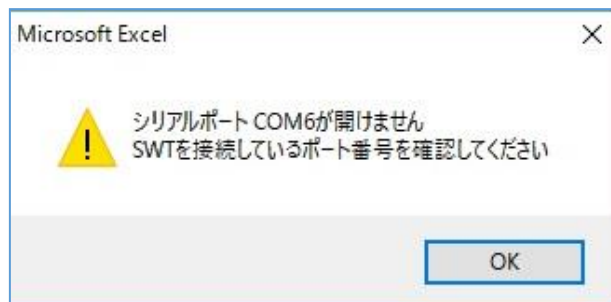


(注 : Excel 2013 の場合)

- ・SWT Monitor 画面が開きます。
- ・1 頁の 1. 「USB 転送ドライバのインストール」で確認した COM ポート番号を **COM port** ①に入力し、Enter キーを押します。
- ・パソコンと膜厚計を USB ケーブルで接続し、**通信開始** ②をクリックします。「通信できます」が表示すればデータ転送が可能です。
- ・**通信終了** ③をクリックすると膜厚計との通信が終了します。



(注) パソコンと膜厚計が USB ケーブルで接続されていない場合や COM ポート番号の入力が間違っている場合に **通信開始** ②をクリックすると下記の警告が表示されます。パソコンと膜厚計を USB ケーブルで接続し、改めて COM ポート番号を確認してください。



4. データ転送

◆膜厚計の設定に関しては、各製品の取扱説明書をご参照ください。

- ・ SWT-9200/9300 および SAMAC-Pro : 76 頁の『データを送る-①USB (リアルタイム転送)』以降
- ・ SWT-9000/9100 : 31 頁『データを送る』

<リアルタイム転送>

- ・ 測定するたびにデータが転送され、画面に表示されます。また、「データ数、最大値、平均値、最小値」が更新されます。
- ・ **クリア** ④をクリックすると転送済みデータが画面から消去されます。

The screenshot shows the 'SWT Monitor (for SWT-9000Series)' software window. It features a data table with columns for Time, Number, Measurements, and Material. The table shows 10 rows of data for Fe measurements. To the right of the table are summary statistics for Fe and NFe, including data count, maximum, average, and minimum values. A 'COM port' dropdown is set to '7'. Below the table, there are buttons for 'CSV保存' (circled in red and labeled ⑤) and 'クリア' (circled in red and labeled ④). At the bottom, there are '通信開始' and '通信終了' buttons, and a status bar indicating '通信できます'.

Time	Number	Measurements	Material
13:50:00	1	306.2	Fe
13:50:01	2	302.5	Fe
13:50:02	3	300.9	Fe
13:50:03	4	301.6	Fe
13:50:04	5	308.1	Fe
13:50:13	6	829.0	nF
13:50:14	7	828.0	nF
13:50:18	8	836.0	nF
13:50:19	9	825.0	nF
13:50:21	10	833.0	nF

Fe		
データ数	5	件
最大値	308.1	μm
平均値	303.9	μm
最小値	300.9	μm

NFe		
データ数	5	件
最大値	836.0	μm
平均値	830.2	μm
最小値	825.0	μm

- ・ **CSV 保存** ⑤をクリックすると転送済みデータが保存できます。任意の保存先を指定し、ファイル名をつけて保存してください。

The screenshot shows a Windows file save dialog box titled '名前を付けて保存'. The current directory is 'ドキュメント > 膜厚計測定データ'. The file name is 'SWT測定データ_20170623'. The file type is 'すべてのファイル (*.*)'. The creator is 'サンコウ電子研究所'. The '保存(S)' button is highlighted.

<メモリデータ転送>

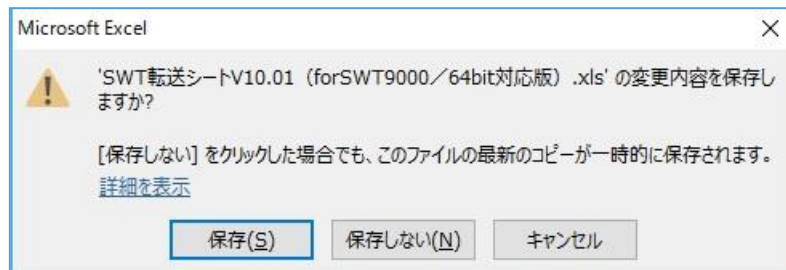
- メモリデータを転送すると転送シート内に新たなシートが作表されます。新たな転送シートには、測定データに加え「転送日時」、「データ数」が表示されます。

グループ (01~10)	ブロック (01~20)	セクション (01~10)	測定値 01	測定値 02	測定値 03	測定値 04	測定値 05	測定値 06	測定値 07	測定値 08	測定値 09	測定値 10
01	01	01	Fe 49.8	Fe 50.1	Fe 51.5	Fe 50.6	Fe 50.6	Fe 49.5	Fe 50.0	Fe 49.5	Fe 59.7	Fe 50.5
01	01	02	Fe 53.5	Fe 59.0	Fe 51.9	Fe 55.8	Fe 50.9	Fe 55.5	Fe 50.7	Fe 53.1	Fe 49.1	Fe 50.5
01	01	03	Fe 301.5	Fe 302.0	Fe 308.3	Fe 308.4	Fe 300.9	Fe 306.1	Fe 303.4	Fe 301.3	Fe 303.0	Fe 301.5
01	01	04	Fe 308.9	Fe 300.7	Fe 305.0	Fe 301.0	Fe 303.6	Fe 305.2	Fe 301.5	Fe 303.4	Fe 303.5	Fe 300.3
01	01	05	Fe 1030.0	Fe 1030.0	Fe 1020.0	Fe 1030.0	Fe 1050.0	Fe 1010.0	Fe 1070.0	Fe 1020.0	Fe 1040.0	Fe 1030.0
01	01	06	Fe 1040.0	Fe 1020.0	Fe 1040.0	Fe 1020.0	Fe 1030.0	Fe 1060.0	Fe 1020.0	Fe 1020.0	Fe 1070.0	Fe 1020.0
01	01	07	nF 53.8	nF 54.6	nF 56.0	nF 55.1	nF 54.0	nF 66.5	nF 58.6	nF 55.6	nF 55.3	nF 58.8
01	01	08	nF 59.9	nF 60.4	nF 59.6	nF 59.2	nF 54.5	nF 54.9	nF 61.1	nF 54.1	nF 54.4	nF 54.9
01	01	09	nF 406.5	nF 407.5	nF 408.5	nF 418.5	nF 408.0	nF 419.0	nF 408.5	nF 407.5	nF 410.5	nF 408.5
01	01	10	nF 415.0	nF 407.0	nF 410.5	nF 409.5	nF 408.5	nF 411.0	nF 407.0	nF 419.0	nF 407.5	nF 408.0
01	02	01	nF 1110.0	nF 1110.0	nF 1130.0	nF 1110.0	nF 1140.0	nF 1180.0	nF 1150.0	nF 1110.0	nF 1110.0	nF 1170.0
01	02	02	nF 1120.0	nF 1110.0	nF 1160.0	nF 1170.0	nF 1110.0	nF 1180.0	nF 1110.0	nF 1170.0	nF 1110.0	nF 1140.0

- ◆転送データはExcelシートに作表されますので、データの分析や加工にご利用いただけます。

5. 転送シートの保存と終了

- 転送シートの保存は、通常のExcelファイルを保存する方法と同様の操作です。
例)「ファイル」をクリックし、「名前を付けて保存」を選択し、ファイル名をつけて保存します。
- 転送シートを閉じると下記のメッセージが表示されますので、保存の有無を選び終了します。



以上

V10.01 July 2017